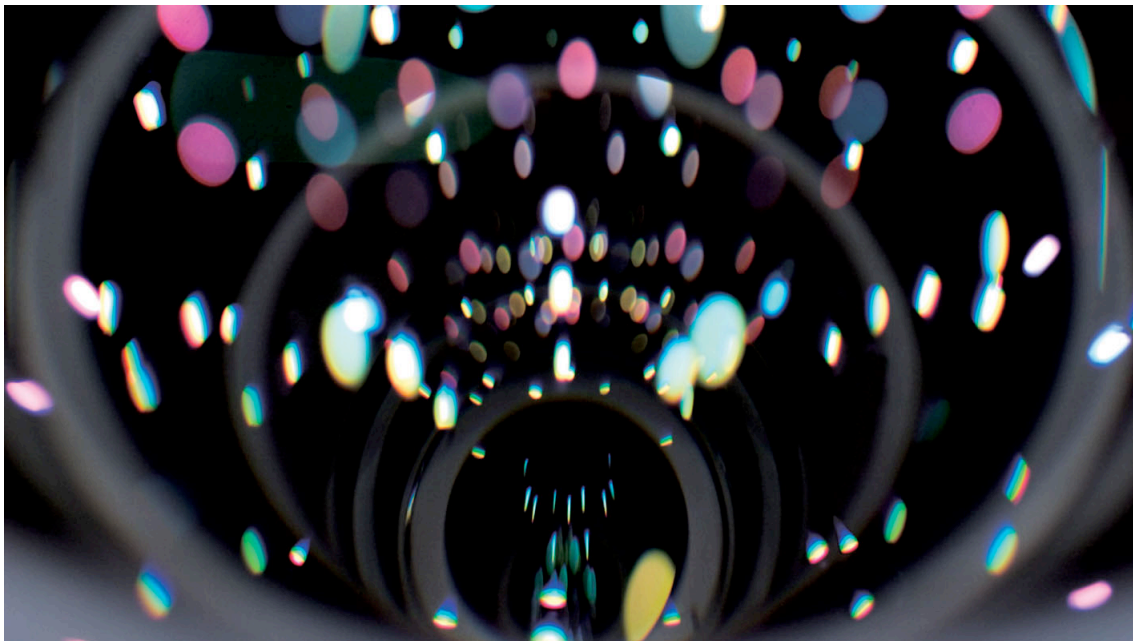


山口情報芸術センター(YCAM) presents

「path」 インスタレーティブ・コンサート／YCAM オリジナル制作作品



開催日時：2005 年 7 月 2 日（土）20:00 開演

7 月 3 日（日）14:00 開演

会場：山口情報芸術センター スタジオ A

出演：内橋和久（ギター、ダクソフォン、エレクトロニクス）、UA（ヴォイス）

製作参加アーティスト：藤本隆行（空間・照明デザイン／ダムタイプ）

古堅真彦（映像デザイン／dag）、

真鍋大度（インタラクション・デザイン）

主催：財団法人山口市文化振興財団 後援：山口市、山口市教育委員会

協賛：ローランド株式会社、オーディオプロセッシングテクノロジー株式会社

機材協力：カラーキネティクス・ジャパン株式会社、ヴイストン株式会社

技術協力：有限会社タマ・テック・ラボ

製作：YCAM InterLab 企画制作：山口情報芸術センター

山口情報芸術センター(YCAM) presents

「path」 インスタレーティブ・コンサート／YCAM オリジナル制作作品

開催日時：2005 年 7 月 2 日（土）20:00 開演

7 月 3 日（日）14:00 開演

会場：山口情報芸術センター スタジオ A

料金：全席自由 一般 3500 円 any 会員/特別割引 3000 円 ※各 300 名限定

出演：内橋和久（ギター、ダクソフォン、エレクトロニクス）、UA（ヴォイス）

製作参加アーティスト：藤本隆行（空間・照明デザイン／ダムタイプ）

古堅真彦（映像デザイン／dag）、

真鍋大度（インタラクティブ・デザイン）

サウンドパフォーマンスに内橋和久、ヴォイス・パフォーマンスにUAを迎え、音と視覚がリアルタイムで連動する新しい形式のコンサートです。演奏、声、音などに映像や光が反応し、空間全体が楽器で演奏されているかのように、アブストラクトな変容を生み出します。

音あるいは音楽によって、視覚表現も含めた空間のすみずみに影響を与えていく実験的コンサートの試みです。演奏や声、音の動きなどステージ上のパフォーマンスが情報化／編集され、パラメータ化された空間の視覚表現［映像、色彩、明るさなど］に、リアルタイムで影響を与えるインタラクティブ・ステージが作り出されます。上演空間の中央（上下）にインスタレーションが設けられ、23チャンネルのスピーカーが空間各所に設置されます。この空間デザインと独自のインターフェイスを通じて生み出される多彩な音の思考とパフォーマンスに対し、映像プロジェクション、ライティング、LED照明などのメディアがインタラクティブに反応し、空間と音の饗宴がその場で、2人のパフォーマーによって即興的に生み出されていきます。

サウンド・アーティストとして、「Festival Beyond Innocence」の主宰、演劇集団「維新派」の音楽担当で知られ、大阪とウィーンを中心に世界的な音楽活動を展開する内橋和久、ヴォイス・パフォーマンスにアルバム「Breathe」をリリースしたUAを迎え、前例のないミュージシャン、アーティスト、プログラマーのコラボレーティブ・ステージを実現します。

※ この作品はアーティスト・イン・レジデンスで、YCAMオリジナル作品として制作されるものです。

YCAM InterLabは、システムやプログラム、インターフェイス開発だけでなく、コンセプトプランニングから製作全般にかかわり、招聘アーティストとともに製作コラボレーションしています。

■ 出演者および参加アーティストプロフィール



内橋和久 Kazuhisa Uchihashi

ギター、ダクソフォン奏者、作曲家。1959年大阪生まれ。現在、東京、大阪、ウィーンをベースに活動。種々のエフェクツを駆使し、ソロやセッションでは多様でリリシズムに満ちた創意あふれる演奏を、独自のユニットではパワーと独創性に満ちたギタースペイを、楽器と即興の可能性を無限大に広げ続けるその活躍は必見に値する。ソロギターの表現として、最近では奏法のみならず、表現空間を重視したプロジェクト（POOL等）にも意欲的に取り組む。あらゆるジャンルを往来し、音楽と共演可能な表現活動とは殆ど共演を経験。音楽監督として参加する「維新派」とは、20年近くに渡り活動をとともにしている。近年は欧米諸国での公演も多い。現在活動中のユニットとしては、今年で16年になるアルターステイツ、ミュートンがあるが、UAをはじめとした、個性的な歌手達とのコラボレーションが話題を呼んでいる。近年はハンスライヒェル氏の発明による新楽器ダクソフォンの日本唯一の演奏者としても知られている。



PHOTO : 三枝崎貴士

UA

1995年ピクタースピードスターから「HORIZON」でデビュー。今年でデビュー10周年を迎える。個性的なルックスと存在感のある歌声で注目を集める。1996年に発売された「情熱」、同年に発売されたアルバム「11」が絶賛を浴びる。2003年映画「沙羅双樹」（第56回カンヌ国際映画祭コンペティション部門正式出品作品）の音楽を担当。NHK教育テレビ番組「ドレミノテレビ」（04年グッドデザイン大賞受賞）に歌のおねえさんくうあ>としてレギュラー出演。2004年5thアルバム「SUN」、数々の童謡・

愛唱歌20曲を集めたくうあ>アルバム「うたううあ」を発売。同年、全国ツアーを行う。モニターに依存しないスリリングでフリーキーなライブは好評を博し、ライブアルバム「la」として音源化発売。今年は、1年ぶりにニューアルバム「Breath」を発売。また、今年公開の映画「空中庭園」では主題歌を担当する。



藤本隆行 Takayuki Fujimoto

1960年生まれ。1987年以後、ダムタイプでのほとんどのプロジェクトに参加。ダムタイプのパフォーマンス作品「S/N」以降においては、主に照明デザイン/オペレート、並びにテクニカル・マネージメントを担当。最近では、LED照明のみを使用したダンス作品「Refined Colors」（2004）を企画。山口情報芸術センターにて3週間の滞在制作を行った後、バンコク（Patravadi Theatre）・シンガポール（Esplanade）・クアラルンプール

(MCPA Theatre)・クリティユ (Maison Des Arts Creteil)を巡回。2005年、香港アートフェスティバル制作のダンス作品「Little Prince Hamlet」に空間・照明デザイン担当として参加。インドネシア・日本・香港・マレーシアのダンサー+韓国のパーカッショニストと共に、2ヶ月間に及ぶ滞在制作後、発表を行う。主な照明デザイン/オペレート作品としては、「S/N performance」(dumb type)：1994-1996、「OR performance」(dumb type)：1997-1999、L.S.D.S「サル of 監視」(日玉浩史 監督/振付)：1998 - 横浜/日本、「memorandum」(dumb type)：1999-、「formula：ryoji ikeda concert」(池田亮司)：2000-、「Voyage」(dumb type)：2002- などがある。



古堅真彦 Masahiko Furukata

プログラミングによるデザイン、制作活動を行う。アルゴリズムミク的な感性をもとに画面上に自由な形状や動きを生成することが研究テーマ。最近「数式を使っていかに、魅力的で親近感がわく形状や動きを自由に作れるか？」を制作テーマとしている。ポスターやレイアウトシステムなど主に紙メディアを中心として活動を開始し、90年代半ばからはインタラクティブな制作を開始。ライブなどでインスタレーションを多く手掛ける。一方で、研究成果を世の中に直結させることが必要と考え、自ら構築したシステム環境をアプリケーションソフトウェアに落とし込み、頒布している。独自の動きのプログラミング言語mel (Motion Express Language)を開発、提案し、実行環境を提供。また、制作スキルや考え方を共有するため、dag (Designing Algorithm Group)を結成。著書に「Javaでモーションプログラミング」(広文社)などがある。ソフトウェアは「gam」,「mifi」等をリリース。現在、国際情報科学芸術アカデミー [IAMAS] 助教授。武蔵野美術大学非常勤講師。



真鍋大度 Daito Manabe

1976 年東京生まれ。サウンドアーティスト/プログラマー。振動、超低周波を使用して触覚と聴覚の特殊性、共通性、相互作用を狙った作品制作を行う一方で、実験的なターンテーブリストとしても活動。木造家屋を超低周波で振動させるライブ(2003)や、聴覚と触覚の差異を知覚するための椅子 "chair the difference" (2004)、澤井妙治(portable[k]ommunity)、城一裕(The SINE WAVE ORCHESTRA)との共作 "riotplease" - /a...ha...++" (2004)等を発表。ターンテーブリストとしては、国際情報科学芸術アカデミー [IAMAS] 在学時より、レコードに特殊な信号を埋め込み映像、OpenGL を制御するプログラムを Max/MSP で開発。最近では Ms.Pinky というレコードとプログラムを用いて Satoshi HORII と共に音と映像をスクラッチするライブを行う。その傍ら、音響・プログラマーとして Refined Colors(2004-)等様々なアートプロジェクトに参加している。現在、東京芸術大学美術学部先端芸術表現科非常勤講師。DGN プログラマー。

■ 概要

「path」 インスタレーティブ・コンサート／YCAM オリジナル制作作品

日時：2005 年 7 月 2 日（土）20:00 開演／7 月 3 日（日）14:00 開演

会場：山口情報芸術センター スタジオ A

料金：全席自由 一般 3500 円 any 会員/特別割引 3000 円

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット情報：

発売日：6 月 4 日（土）～

山口市文化振興財団チケットインフォメーション 083-920-6111

ローソンチケット 0570-063-006（Lコード 67340）

主催：財団法人山口市文化振興財団 後援：山口市、山口市教育委員会

協賛：ローランド株式会社、オーディオプロセッシングテクノロジー株式会社

機材協力：カラーキネティクス・ジャパン株式会社、ヴイストン株式会社

技術協力：有限会社タマ・テック・ラボ

製作：YCAM InterLab 企画制作：山口情報芸術センター

■特別割引について

特別割引は、青少年(18 歳未満)、シニア(65 歳以上)、障害者及び同行の介護者 1 名が対象。

山口情報芸術センター、山口市民会館、山口南総合センターのみの販売となります。

■託児サービス

対象：0 才以上 託児時間：開演の 30 分前から終演後 30 分後まで

料金：お子様 1 人につき 500 円、2 人目以降は 1 人につき 300 円

申込方法：各公演日の 8 日前までにチケットインフォメーション（TEL:083-920-6111）までお申し込みください。

<山口情報芸術センター(YCAM)へのアクセス>

■JR 新山口駅から

- ・ JR 山口線湯田温泉駅下車、徒歩 20 分／タクシー5 分
- ・ JR 山口線山口駅下車、徒歩 20 分／バス 10 分(中園町か済生会病院前下車)／タクシー5 分
- ・ 防長バス 25 分、中園町下車

■自動車利用

- ・ 山陽自動車道で防府東 IC から 30 分 ・ 九州・中国自動車道で小郡 IC から 15 分

<お問い合わせ> 山口情報芸術センター (広報担当: 小滝)

〒753-0075 山口県山口市中国園町 7-7

TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 E-mail: information@ycam.jp <http://www.ycam.jp/>